

社団法人日本気象学会 2009年度総会議案

日時：2009年5月29日 13:30～15:20

場所：つくば国際会議場

議案1 2008年度事業報告

1. 会員数の動向（2009年3月31日現在）

() は前年比

会員数合計	3,928名 (-91名)
通常会員	1,087 (-25)
一般	A	687 (+7)
	B	241 (-10)
学生	A	81 (-16)
	B	12 (-3)
高年	A	61 (-1)
	B	5 (-2)
特別会員	2,507名 (-45名)
一般	A	1,832 (-26)
	B	367 (-44)
	C	26 (+1)
	D	4 (+3)
学生	A	180 (+10)
	B	16 (-1)
高年	A	72 (+9)
	B	10 (+3)
団体会員	285団体 (-26団体)
団体	A	93 (-8)
	B	111 (-4)
	C	81 (-14)
賛助会員	33団体 (±0)
名誉会員	16名 (+5名)

2. 機関誌等の刊行

- (1) 天気第55巻4号～第56巻3号、12冊 (1,000頁、昨年度より48頁減)、各号4,200部印刷、電子ジャーナル版公開、
- (2) 気象集誌第86巻2号～第87巻1号、6冊 (1,015頁、376頁減、特別号1冊減)、各号1,250部印刷、電子ジャーナル版公開
- (3) 英文レター誌 SOLA 第4巻～第5巻
第4巻 28編 112頁
第5巻 10編 40頁

(4) 気象研究ノート

- ア 218号「エアロゾルの気候と大気環境への影響」(2008年6月) 178頁、1,500部
- イ 219号「ラージ・エディ・シミュレーションの気象への応用と検証」(2008年11月) 166頁、1,500部

(5) 大会予稿集

- ア 春季大会 (93号) 509頁 1,500部印刷
- イ 秋季大会 (94号) 543頁 1,500部印刷

3. 会議等の開催

(1) 総会

- 2008年5月19日、横浜市開港記念会館講堂 (出席者87名、総会参加票598名、計685名)
- ア 2007年度事業報告・決算報告、2008年度事業計画・予算が承認された。
 - イ 第35期役員候補者選挙における当選者及び当選者の推薦による理事候補者が報告され、提案のとおり承認された。
 - ウ 5名の名誉会員候補者が報告され、提案のとおり承認された。
 - エ 公益法人への移行ならびに地球惑星科学連合の法人化について、現状および今後の対処方針等が報告された。

(2) 理事会

- 第34期 (第10回) 2008年5月18日、横浜
- 第34期 (第11回) 2008年6月16日、東京
- 第35期 (第1回) 2008年6月16日、東京
- 第35期 (第2回) 2008年6月30日、書面
- 第35期 (第3回) 2008年11月19日、仙台
- 第35期 (第4回) 2008年12月25日、書面
- 第35期 (第5回) 2009年3月13日、東京

(3) 常任理事会

- 第34期 (第20回) 2008年4月17日、東京
- 第34期 (第21回) 2008年5月18日、横浜
- 第34期 (第22回) 2008年6月16日、東京
- 第35期 (第1回) 2008年7月11日、東京
- 第35期 (第2回) 2008年9月8日、東京

第35期(第3回) 2008年10月9日、東京
 第35期(第4回) 2008年11月19日、仙台
 第35期(第5回) 2008年12月15日、東京
 第35期(第6回) 2009年1月22日、東京
 第35期(第7回) 2009年2月25日、東京
 第35期(第8回) 2009年3月13日、東京

(4) 評議員会

第35期(第1回) 2009年3月13日
 会場: 弘済会館(東京)

4. 大会及び研究会等

(1) 春季大会 2008年5月18日~21日

会場:
 横浜市開港記念会館、横浜情報文化センター
 (担当: 海洋研究開発機構、防衛大学校)
 シンポジウム:

海洋観測が切り拓く気候システム科学

(2) 秋季大会 2008年11月19日~21日

会場:
 仙台国際センター(担当: 東北支部)
 シンポジウム:
 地域の詳細な気象と気候の再現を目指して
 —ダイナミックダウンスケール技術の高度利用—

(3) 研究連絡会

ア メソ気象研究連絡会

東京 2008年5月17日
 福島 2008年11月18日

イ オゾン研究連絡会

横浜 2008年5月20日
 仙台 2008年11月19日

ウ 極域・寒冷域研究連絡会

横浜 2008年5月20日
 仙台 2008年11月19日

エ 非静力学数値モデル研究連絡会

名古屋 2008年11月27-28日

オ 天気予報研究連絡会

東京 2009年1月30日

カ 航空気象研究連絡会

東京 2009年2月20日

キ 統合的陸域圏研究連絡会

仙台 2008年11月19日

ク 惑星大気研究連絡会

東京 2008年5月17日

ケ 気象教育研究連絡会

横浜 2008年5月18日

コ 長期予報研究連絡会

東京 2008年10月2日

(4) 第20回日本気象学会夏期特別セミナー
(若手会 夏の学校)

大分 2008年7月19-21日

(5) 他学会との共催等

ア 第57回理論応用力学講演会

2008年6月10-12日

イ 第45回アイソトープ・放射線研究発表

2008年7月2-4日

ウ 第25回エアロゾル科学・技術研究討論会

2008年8月20-22日

エ 第20回風工学シンポジウム

2008年12月3-5日

5. 研究業績の表彰

(1) 日本気象学会賞

岩崎 俊樹 東北大学大学院理学研究科
 青木 輝夫 気象庁気象研究所

(2) 藤原賞

松本 誠一 元気象庁気象研究所
 廣田 勇 京都大学名誉教授

(3) 山本・正野論文賞

三浦 裕亮 海洋研究開発機構地球環境フ
 ロンティア研究センター
 三好 建正 気象庁予報部

(4) 堀内賞

大島 慶一郎 北海道大学低温科学研究所
 橋口 浩之 京都大学生存圏研究所

(5) 奨励賞

小寺 裕之 気象庁函館海洋気象台

6. 支部活動

(1) 北海道支部

研究発表会 (札幌) 2008年6月9日
 (札幌) 2008年12月16-17日

(2) 中部支部

支部研究会 (金沢) 2008年12月1-2日

(3) 関西支部

ア 年会 (大阪) 2008年6月28日

イ 例会

中国地区 (広島) 2008年11月8日

四国地区 (徳島) 2008年12月13日

- 近畿地区 (神戸) 2009年2月21日
- (4)九州支部
支部発表会 (福岡) 2009年3月7日
- (5)沖縄支部
支部研究会 (那覇) 2008年11月27日

7. 普及活動

- (1)公開気象講演会 (横浜) 2008年5月18日
テーマ
ーIPCC第4次評価報告書にみる地球温暖化ー
ー脱温暖化都市横浜を目指してー
ー市民団体の取り組みー
- (2)第42回夏季大学
2008年8月2-4日 (東京:気象庁)
「新しい気象学」ー気象のシミュレーションIIIー
- (3)サイエンスカフェ
第11回~第15回 (東京)
- (4)北海道支部
ア 気候講演会 (札幌) 2008年6月21日
ーストップ・ザ・地球温暖化 in 北海道ー
イ 第26回気象講座「新しい気象」
(札幌) 2008年7月28-29日
ウ 特別気象講演会
第3回気象サイエンスカフェ
(札幌) 2009年3月8日
- (5)東北支部
気象講演会 (福島) 2008年10月30日
ー身近に潜む気象災害ー
- (6)中部支部
第14回公開気象講座
(名古屋) 2008年8月25日
「気象観測のブレイクスルー:GPS掩蔽法」
- (7)関西支部
ア 第30回夏季大学ー大気を診るー
(京都) 2008年8月5-6日
イ 第2回サイエンスカフェ in 関西
(大阪) 2008年12月4日
- (8)九州支部
気象教室ー気象と環境ー
(福岡) 2008年8月23日
- (9)沖縄支部
ア 親と子のお天気教室
(那覇) 2008年8月22日

- イ 防災気象講演会
(那覇) 2009年1月20日
- ウ シンポジウム (那覇) 2009年2月4日
ー豪雨・雷・竜巻等の激しい気象の実態に迫るー

8. 国際学術交流活動

- (1)国際学術研究集会参加補助
ア WMO/WWRP 主催:4次元変分法(4D-Var)
とアンサンブル・カルマンフィルタ(EnKF)
の比較に関する専門家会合
(プエノスアイレス(アルゼンチン))
2008年10月27日-11月13日
三好 建正(気象庁予報部)
- イ WMO 主催:THORPEX プロジェクトに関する
第3回研究集会
(カリフォルニア(米国))
2009年5月4日-8日
松枝 未遠(地球科学技術総合推進機構)
- (2)第4回日本・中国・韓国気象学会共催国際会議
開催準備

9. 電子情報関連

- (1)学会ホームページ管理運営
(2)メーリングリストの管理運営
(3)日本気象学会刊行物収録DVD刊行

10. 気象研究コンソーシアム

- 参加研究課題 新規 3件
継続 12件
(2009年3月現在)

議案 2 2008 年度収支決算報告

2-1 貸借対照総括表

貸借対照表総括表

2009年 3月31日現在

社団法人 日本気象学会

科 目	公益会計	収益会計	合 計
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	31,532,321	10,233,558	41,765,879
現 金	453,735	491,422	945,157
普 通 預 金	19,649,660	7,201,208	26,850,868
郵 便 振 替 貯 金	11,428,926	2,540,928	13,969,854
棚 卸 資 産	0	3,945,945	3,945,945
流動資産合計	31,532,321	14,179,503	45,711,824
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
貸 付 信 託 ・ 預 金	12,370,000	0	12,370,000
国 債	32,000,000	0	32,000,000
地 方 債	10,040,000	0	10,040,000
基本財産合計	54,410,000	0	54,410,000
(2) 特定資産			
退 職 給 与 引 当 資 産	163,119	0	163,119
特定資産合計	163,119	0	163,119
(3) その他固定資産			
什 器 備 品	586,270	0	586,270
その他固定資産合計	586,270	0	586,270
固定資産合計	55,159,389	0	55,159,389
資産合計	86,691,710	14,179,503	100,871,213
II 負債の部			
1. 流動負債			
通 常 会 員 前 受 会 費	7,988,100	0	7,988,100
特 別 会 員 前 受 会 費	17,307,418	0	17,307,418
預 り	61,412	0	61,412
流動負債合計	25,356,930	0	25,356,930
2. 固定負債			
退 職 金 引 当 金	2,140,000	0	2,140,000
固定負債合計	2,140,000	0	2,140,000
負債合計	27,496,930	0	27,496,930
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	59,194,780	14,179,503	73,374,283
(うち基本財産への充当額)	(54,410,000)	(0)	(54,410,000)
正味財産合計	59,194,780	14,179,503	73,374,283
負債及び正味財産合計	86,691,710	14,179,503	100,871,213

2-2 正味財産増減計算書総括表

正味財産増減計算書総括表

2008年 4月 1日から2009年 3月31日まで

社団法人 日本気象学会

科 目	公益会計	収益会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用	[568,800]	[0]	[568,800]
受取会費	[34,990,734]	[0]	[34,990,734]
事業収益	[30,381,959]	[15,336,556]	[45,718,515]
受取補助金	[3,701,667]	[0]	[3,701,667]
雑収入	[179,020]	[0]	[179,020]
他会計からの繰入金	[1,100,000]	[0]	[1,100,000]
経常収益計	70,922,180	15,336,556	86,258,736
(2) 経常費用			
事業費用	[47,607,686]	[5,069,116]	[52,676,802]
管理費	[20,601,271]	[8,022,123]	[28,623,394]
減価償却額	[159,772]	[0]	[159,772]
棚卸資産増減額	[0]	[163,389]	[163,389]
退職給与引当金繰入額	[640,000]	[0]	[640,000]
他会計への繰入金	[0]	[1,100,000]	[1,100,000]
経常費用計	69,008,729	14,354,628	83,363,357
当期経常増減額	1,913,451	981,928	2,895,379
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,913,451	981,928	2,895,379
一般正味財産期首残高	57,281,329	13,197,575	70,478,904
一般正味財産期末残高	59,194,780	14,179,503	73,374,283
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	59,194,780	14,179,503	73,374,283

2-3 財産目録総括表

財産目録総括表
2009年 3月31日現在

社団法人 日本気象学会

科 目	公益会計	収益会計	合 計
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	31,532,321	10,233,558	41,765,879
現金手許有高	453,735	491,422	945,157
普通預金	19,649,660	7,201,208	26,850,868
みずほ銀行 丸之内支店	18,703,709	7,201,208	25,904,917
中央三井信託銀行 本店営業部	18,294	0	18,294
UFJ銀行 東京営業部	126,389	0	126,389
住友信託銀行 東京営業部	801,268	0	801,268
郵便振替貯金	11,428,926	2,540,928	13,969,854
ゆうちょ銀行	11,428,926	2,540,928	13,969,854
棚卸資産	0	3,945,945	3,945,945
流動資産合計	31,532,321	14,179,503	45,711,824
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
貸付信託預金	12,370,000	0	12,370,000
中央三井信託①(藤原賞)	1,920,000	0	1,920,000
住友信託銀行①(基本金)	1,750,000	0	1,750,000
住友信託銀行②(山本・正野論文賞)	6,500,000	0	6,500,000
住友信託銀行③(堀内賞)	600,000	0	600,000
住友信託銀行④(藤原賞)	1,600,000	0	1,600,000
国債	32,000,000	0	32,000,000
野村証券(国際学術交流基金)	16,350,000	0	16,350,000
住友信託銀行(基本金)	10,000,000	0	10,000,000
日興コーディアル証券(堀内賞)	5,650,000	0	5,650,000
地方債	10,040,000	0	10,040,000
野村証券②(国際学術交流基金)	10,040,000	0	10,040,000
基本財産合計	54,410,000	0	54,410,000
(2) 特定資産			
退職給与引当資産	163,119	0	163,119
中央三井信託②	163,119	0	163,119
特定資産合計	163,119	0	163,119
(3) その他固定資産			
什器備品	586,270	0	586,270
その他固定資産合計	586,270	0	586,270
固定資産合計	55,159,389	0	55,159,389
資産合計	86,691,710	14,179,503	100,871,213
II 負債の部			
1. 流動負債			
通常会員前受会費	7,988,100	0	7,988,100
一般A	4,468,500	0	4,468,500
一般B	2,898,000	0	2,898,000
学生A	273,000	0	273,000
学生B	72,900	0	72,900
高年A	235,200	0	235,200
高年B	40,500	0	40,500
特別会員前受会費	17,307,418	0	17,307,418
一般A	11,891,574	0	11,891,574
一般B	4,246,200	0	4,246,200
学生A	611,270	0	611,270
学生B	105,300	0	105,300
高年A	298,200	0	298,200
高年B	56,700	0	56,700
一般C	98,174	0	98,174
預り金	61,412	0	61,412
所得税	7,500	0	7,500
社会保険料	22,912	0	22,912
懇親会費	31,000	0	31,000
流動負債合計	25,356,930	0	25,356,930
2. 固定負債			
退職金引当金	2,140,000	0	2,140,000
固定負債合計	2,140,000	0	2,140,000
負債合計	27,496,930	0	27,496,930
正味財産	59,194,780	14,179,503	73,374,283

2-4 収支計算書総括表

収支計算書総括表

2008年 4月 1日から2009年 3月31日まで

社団法人 日本気象学会

科 目	公益会計	収益会計	合 計
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基 本 財 産 運 用	[568,800]	[0]	[568,800]
会 費 収 入	[34,990,734]	[0]	[34,990,734]
事 業 収 入	[30,381,959]	[15,336,556]	[45,718,515]
補 助 金 収 入	[3,701,667]	[0]	[3,701,667]
雑 入 収 入	[178,728]	[0]	[178,728]
繰 入 金 収 入	[1,100,000]	[0]	[1,100,000]
事業活動収入計	70,921,888	15,336,556	86,258,444
2. 事業活動支出			
事 業 費 支 出	[47,607,686]	[5,069,116]	[52,676,802]
管 理 費 支 出	[20,601,271]	[8,022,123]	[28,623,394]
繰 入 金 支 出	[0]	[1,100,000]	[1,100,000]
事業活動支出計	68,208,957	14,191,239	82,400,196
事業活動収支差額	2,712,931	1,145,317	3,858,248
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
固 定 資 産 取 得 支 出	[381,150]	[0]	[381,150]
投資活動支出計	381,150	0	381,150
投資活動収支差額	△ 381,150	0	△ 381,150
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	2,331,781	1,145,317	3,477,098
前期繰越収支差額	3,843,610	9,088,241	12,931,851
次期繰越収支差額	6,175,391	10,233,558	16,408,949

2-5 計算書類に対する注記

(1) 重要な会計方針

- 1) 有価証券の評価基準及び評価方法・・・総平均法による原価基準を採用している。
- 2) 棚卸資産の評価方法・・・移動平均法による原価法によっている。
- 3) 固定資産の減価償却・・・什器備品は定率法による減価償却を実施している。
- 4) 退職給付引当金・・・当期末における退職給付債務に基づき、当期末に発生していると認められる額を計上している。

(2) 次期繰越金の内容は次のとおりである。

科目	当期末残高	公益部門	収益部門
現金	¥945,157	¥453,735	¥491,422
普通預金	¥26,850,868	¥19,649,660	¥7,201,208
郵便振替貯金	¥13,969,854	¥11,428,926	¥2,540,928
合計	¥41,765,879	¥31,532,321	¥10,233,558
前受け会費	¥25,295,518	¥25,295,518	¥0
預かり金	¥61,412	¥61,412	¥0
次期繰越金額	¥16,408,949	¥6,175,391	¥10,233,558

(3) 基本財産の増減及びその残高は次のとおりである。

科目	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本金	¥0	¥0	¥11,750,000
藤原賞	¥0	¥0	¥3,520,000
山本・正野論文賞	¥0	¥0	¥6,50,000
国際学術交流基金	¥0	¥0	¥26,390,000
堀内賞	¥0	¥0	¥6,250,000
合計	¥0	¥0	¥54,410,000

(4) 固定資産の減価償却及び当期末残高は次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	原価償却額	当期末残高
什器備品	¥364,892	¥381,150	¥159,772	¥586,270

2-6 会計別収支計算表

(1) 公益会計

収支計算書

2008年 4月 1日から2009年 3月31日まで

社団法人 日本気象学会
公益会計

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用	[560,000]	[568,800]	[△ 8,800]
基本基金	140,000	144,747	△ 4,747
藤原賞	21,000	20,841	159
山本・正野論文賞	55,000	54,598	402
堀内賞	44,000	44,554	△ 554
国際交流基金	300,000	304,060	△ 4,060
会費収入	[35,093,000]	[34,990,734]	[102,266]
通常会費	8,659,000	8,454,190	204,810
特別会費	19,328,000	18,875,806	452,194
団体職員会費	4,416,000	5,010,738	△ 594,738
賛助職員会費	2,690,000	2,650,000	40,000
事業収入	[29,835,000]	[30,381,959]	[△ 546,959]
天気象集誌	1,400,000	1,184,085	215,915
S O L A	8,850,000	9,891,749	△ 1,041,749
予稿集	2,835,000	2,326,000	509,000
大会開催	7,900,000	7,760,625	139,375
大育と普及	8,450,000	8,928,000	△ 478,000
教育と普及	400,000	291,500	108,500
補助金収入	[4,000,000]	[3,701,667]	[298,333]
補科学研究費	4,000,000	3,701,667	298,333
雑収入	[155,000]	[178,728]	[△ 23,728]
受取利息	25,000	23,263	1,737
著作権複写許可料	120,000	153,225	△ 33,225
その他	10,000	2,240	7,760
繰入金収入	[0]	[1,100,000]	[△ 1,100,000]
収益会計より繰入金収入	0	1,100,000	△ 1,100,000
事業活動収入計	69,643,000	70,921,888	△ 1,278,888
2. 事業活動支出			
事業費支出	[47,366,000]	[47,607,686]	[△ 241,686]
天気象集誌	17,460,000	17,781,598	△ 321,598
S O L A	14,290,000	15,703,797	△ 1,413,797
予稿集	2,826,000	2,510,624	315,376
大会開催	1,970,000	2,007,581	△ 37,581
大育と普及	7,845,000	7,023,451	821,549
教表彰・奨励	455,000	235,275	219,725
表彰・奨励	1,510,000	1,554,482	△ 44,482
国際学術交流	400,000	523,180	△ 123,180
その他の委員会	480,000	131,416	348,584
研究連絡会費	100,000	121,282	△ 21,282
その他の事業費	30,000	15,000	15,000
管理費支出	[21,987,000]	[20,601,271]	[1,385,729]
人件費支出	12,259,000	11,604,668	654,332
退職金支出	432,000	0	432,000
事務局関連経費支出	5,396,000	5,273,750	122,250
電子情報支出	10,000	0	10,000
総会役員会支出	1,209,000	1,139,162	69,838
支部交付金支出	2,200,000	2,274,516	△ 74,516
租税公課支出	481,000	309,175	171,825
事業活動支出計	69,353,000	68,208,957	1,144,043
事業活動収支差額	290,000	2,712,931	△ 2,422,931

科 目	予算額	決算額	差 異
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
固 定 資 産 取 得 支 出	[0]	[381,150]	[△ 381,150]
什 器 備 品	0	381,150	△ 381,150
投資活動支出計	0	381,150	△ 381,150
投資活動収支差額	0	△ 381,150	381,150
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	[290,000]	—	[290,000]
当期収支差額	0	2,331,781	△ 2,331,781
前期繰越収支差額	3,843,610	3,843,610	0
次期繰越収支差額	3,843,610	6,175,391	△ 2,331,781

(2) 収益会計

収支計算書

2008年 4月 1日から2009年 3月31日まで

社団法人 日本気象学会
収益会計

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
事業収入	[15,230,000]	[15,336,556]	[△ 106,556]
天気象集誌	3,160,000	2,648,516	511,484
天気象研究ノート	1,300,000	748,605	551,395
予稿集	7,690,000	8,944,240	△ 1,254,240
書店扱い	400,000	282,500	117,500
その他事業収入	2,680,000	2,635,895	44,105
雑収入	0	76,800	△ 76,800
著作権複写許可料	[20,000]	[0]	[20,000]
事業活動収入計	20,000	0	20,000
2. 事業活動支出	15,250,000	15,336,556	△ 86,556
事業費支出	[6,726,000]	[5,069,116]	[1,656,884]
天気象集誌	1,280,000	1,683,049	△ 403,049
天気象研究ノート	920,000	765,123	154,877
予稿集	4,506,000	2,620,944	1,885,056
管理費支出	20,000	0	20,000
人件費支出	[8,147,000]	[8,022,123]	[124,877]
退職金支出	4,090,000	3,868,223	221,777
事務局関連経費支出	144,000	0	144,000
総会・役員会支出	1,779,000	1,884,970	△ 105,970
支部交付金支出	404,000	379,721	24,279
租税公課支出	1,100,000	1,120,284	△ 20,284
法人税等支出	80,000	261,625	△ 181,625
繰入金支出	550,000	507,300	42,700
公益会計へ繰入金支出	[0]	[1,100,000]	[△ 1,100,000]
0	0	1,100,000	△ 1,100,000
事業活動支出計	14,873,000	14,191,239	681,761
事業活動収支差額	377,000	1,145,317	△ 768,317
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	[180,000]	—	[180,000]
当期収支差額	197,000	1,145,317	△ 948,317
前期繰越収支差額	9,088,241	9,088,241	0
次期繰越収支差額	9,285,241	10,233,558	△ 948,317

議案 3 2008 年度監査報告

2008 年度社団法人日本気象学会監査報告

2008 年度社団法人日本気象学会財産及び業務執行の監査結果を次のとおり報告する。

1. 監査月日

2009 年 4 月 7 日 (火)

2. 監査場所

東京都千代田区大手町 1-3-4 気象庁内

日本気象学会事務局

3. 監査帳簿

- (1) 2008 年度収支計算書
- (2) 総勘定元帳、仕訳帳
- (3) 現金出納帳
- (4) 普通預金明細票
- (5) 郵便振替受払通知票
- (6) 領収書類
- (7) 財産目録総括表
- (8) 預金証書、預金通帳
- (9) 気象研究ノート棚卸調
- (10) 備品台帳
- (11) 2008 年度事業報告書

4. 監査内容

- (1) 2008 年度収支計算書及びその他の計算書について、その経理状況を監査するとともに財政状況を調べた。
- (2) 上記の帳簿類について照合を行うとともに出納状況記載事項の監査を実施した。
- (3) 学会の運営状況を聴取し意見を述べた。

5. 監査意見

2008 年度(2008 年 4 月 1 日から 2009 年 3 月 31 日まで)の会計に関する帳簿類は、照合の結果、正確であり、収支計算書その他の計算書は正しいと認める。

日本気象学会の近年の活動状況をみると、2007 年の学会創立 125 周年記念事業の実施、気象研究コンソーシアムの立ち上げとこれを通じた研究活動の推進、日本・中国・韓国気象学会共催による国際会議の定期開催の定着化など、積極的な事業展開・学術交流が行われてきた。春秋の定期大会における参加者数も高いレベルを保っており、

研究連絡会の開催回数の増加など研究成果の公表活動も盛んである。地方支部においても、気象予報士会などと連携して気象サイエンスカフェが定期的に開催されるなど、普及啓蒙の活動においても前進が見られる。また、今後の学会の事業活動の基本方向を示す「中長期ビジョン」の策定が進められており、より社会の要請に適合した今後の学会事業の展開が期待される。

一方で、会員数の動向については、この 1 年間で個人会員が 70 名、団体会員が 26 件の減少となった。1999 年度以降減少が続いている会員数は、10 年間で 15%近い会員減となっており、これに伴い、会費収入も大きく減少してきている。2008 年度の収支状況は、気象研究ノート等の事業活動の黒字により全体で約 348 万円の黒字となったが、現行のペースで会員数の減少が続くと、遠からず財政面において事業の円滑な実行に支障を与えることが懸念される。

日本気象学会は 2010 年度に公益社団法人の認定を受けることを目標に、新しい公益法人制度に適合した法人運営のあり方を検討しつつ、現在その準備を進めているところである。公益法人としての事業の健全な継続・発展を保障する観点からも、会員数の減少も念頭においた今後の学会の財政・経営面についての検討も必要であると考え。

この 1 年間、様々な学会活動に熱心に取り組んでこられた理事、各委員会委員、事務局の努力に敬意を表する。

2009 年 4 月 7 日

監事

藤川 典久 

監事

北川 裕人 

議案 4 理事の辞任に伴う後任の推薦について

1 理事（全国区）

2008年6月に1名の理事が辞任され、現在の理事数は26名（定款による最大数は27名）となっております。学会運営を円滑に行うために、日本気象学会細則第6条第11項の規定により、理事会の議を経て、石原会員を全国区選出の理事候補者として理事長推薦を行うことと致しました。

候補者：石原 正仁 会員

生年月日：1952年3月8日

所 属：気象庁気象研究所気象衛星・観測システム研究部長

推薦理由：

石原会員は気象大学校卒業後、石垣島地方気象台を経て、気象研究所、気象庁観測部、関西航空地方気象台において各種気象業務に従事し、特に観測関係の業務に精通している。気象研究所においては、レーダー観測の専門家として多くの観測計画に参画し、ドップラーレーダーの観測手法を確立するとともに、それを利用してメソ気象学の分野で多大な功績を挙げている。また、観測部においては、空港気象ドップラーレーダーの整備に携わった。さらに、ウィンドプロファイラー（現在のWINDAS）導入において中心的な役割を果たし、現在のWINDAS観測網を完成させた業績は高く評価されている。この他、気象研究所企画室長として、研究管理業務にも貢献している。

気象学会においては、「天気」編集委員会委員として機関誌編集に参画した。また、現在、用語検討委員会の委員として活動を行っている。さらに、今般、地球惑星科学連合環境・災害対応委員会委員に就任し、その活躍が期待されるところである。

気象学会として今後、気象災害、気象防災に関する分野の充実を図ることが喫緊の課題であることから、石原会員を理事候補として推薦する。

2 理事（地方区）

2009年3月に地方区選出の2名の理事から、都合により理事を辞任したいとの届が理事長に提出され、日本気象学会定款第21条の規定に従って理事会としてこれを承認しました。後任の理事候補として、日本気象学会細則第6条第11項の規定により、理事会の議を経て、各所属支部から推薦のあった後任候補者を、理事長推薦を行うことと致しました。

なお、今回辞任された理事、後任の理事候補者及び各支部からの推薦書は以下のとおりです。

辞任する地方区選出理事

関田 康雄 会員（東北地区選出）

山田 眞吾 会員（九州地区選出）

後任地方区理事候補者

鈴木 和明 会員（東北地区）

田中 省吾 会員（九州地区）

○ 東北地区

候補者 : 鈴木 和明 会員

生年月日 : 1957 年 4 月 5 日生

所 属 : 仙台管区気象台予報課長

推薦理由 :

鈴木会員は、気象庁入庁後、北海道や東北地方の気象台に勤務し、観測及び予報業務の経験を積み重ね、特に予報業務に関しては短期予報から季節予報まで幅広く従事してきた。最近数年間は、気象庁予報部予報課予報官、広島地方気象台観測予報課長、仙台管区気象台技術部予報課長として指導的役割を果たしつつ、昨年は 2008 年度秋季大会実行委員として秋季大会運営に寄与した。鈴木会員は、これらの豊富な知識や経験を活かし、気象学会の活動と運営に貢献することが期待される。よって鈴木会員を理事候補として推薦する。

○ 九州地区

候補者 : 田中 省吾 会員

生年月日 : 1958 年 4 月 28 日生

所 属 : 福岡管区気象台技術部長

推薦理由 :

田中会員は、気象庁全体の情報提供・危機管理対応の企画・調整業務を皮切りに、予報業務、防災業務、航空気象業務、情報処理業務、地球環境・海洋業務など幅広い分野で、各種情報の改善、新規プロダクトの開発、スーパーコンピュータをはじめとする総合的な情報通信ネットワークシステムの導入などに長年携わってきた。また、最近では広報室長として、緊急地震速報、竜巻注意情報をはじめとする各種防災情報および気象技術・知識等の利活用方を普及・啓発する活動も行っている。こうした活動は、最新の気象学の研究開発成果を出来る限り迅速に国民生活に還元するとともに、各種研究開発活動が如何に重要であるかを社会に理解いただく取組みでもある。田中会員のこうした経験は、気象学会の目的の一つである社会貢献活動に寄与することが期待される。よって田中会員を理事候補として推薦する。

議案 5 一般社団法人地球惑星科学連合への団体会員としての加盟について

(社)日本気象学会理事会

地球惑星科学連合は平成 20 年 12 月 1 日付で一般社団法人の申請を行い、一般社団法人地球惑星科学連合（以下、連合）が設立された。日本気象学会はこれまで任意団体であった旧地球惑星科学連合の加盟学会として活動してきているが、連合からは、日本気象学会が団体会員として引き続き加盟することを要請されている。

昨年の総会においては、今後の連合との関係について以下のように報告している（詳細は「天気」2008 年 7 月号「2008 年度総会報告事項について」参照）。

「学問が複雑化、複合化しているために、多くの分野との連携が必要になっていること、学術会議等は地球科学関係の対応学会として連合を想定していること、などの理由から、気象学会としても法人化後の連合に継続的に参加する必要がある。」

このような状況を受け、第 35 期日本気象学会理事会としては、(社)日本気象学会が、一般社団法人地球惑星科学連合に団体会員として加盟することを提案する。

参考

連合法人化計画概要

- ① 従来の関連学協会を束ねる窓口組織から、新たに日本の地球惑星科学の活動主体を目指す。
- ② 連合の発展が加盟学協会の活性化を促し、我が国の地球惑星科学が世界の中心の一つの基軸となり得るような組織・体制の確立。
- ③ 個人会員登録制の導入
加盟学協会は団体会員(加盟学協会)となり、新たに正会員(個人登録会員)を創設。
正会員：登録時に 6 つの区分の中から主として所属する区分を申告。
- ④ 連合の運営
区分ごとに代議員を選出。
代議員+団体会員で社員総会を構成。
- ⑤ 学術活動の主体
自律的機能を持つセクション(宇宙惑星, 大気海洋・環境, 地球人間圏, 固体地球, 地球生命)を基本単位として活動。

一般社団法人 日本地球惑星科学連合 定款

第 2 章 会員及び社員

(法人の構成員)

第 7 条 この法人に次の会員を置く。

- (1) 正会員 この法人の目的及び事業に賛同して入会した地球惑星科学に関わる又は関心を持つ個人
- (2) 団体会員 この法人の目的及び事業に賛同して入会した地球惑星科学に関わる学術研究団体
- (3) 賛助会員 この法人の事業を賛助するため入会した個人又は団体
- (4) 名誉会員 この法人に功労のあった者又は学識経験者で社員総会において推薦された者

2 この法人は、正会員の中から選出された代議員及び団体会員をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下、「法人法」という。）上の社員とする。

(代議員の定数、選出方法、任期及び欠員措置)

第 11 条 代議員の定数は、80 名以上 200 名以内で社員総会において別に定める数とする。

2 代議員の選出は、第 8 条第 3 項に規定する登録区分をもって選挙区とする正会員による選挙によるものとし、各登録区分において選挙すべき代議員の数、その他の選挙に関する事項は、社員総会が別に定める。

3 正会員は等しく選挙権及び被選挙権を有する。理事及び理事会は、代議員を選出することはできない。

4～6 略

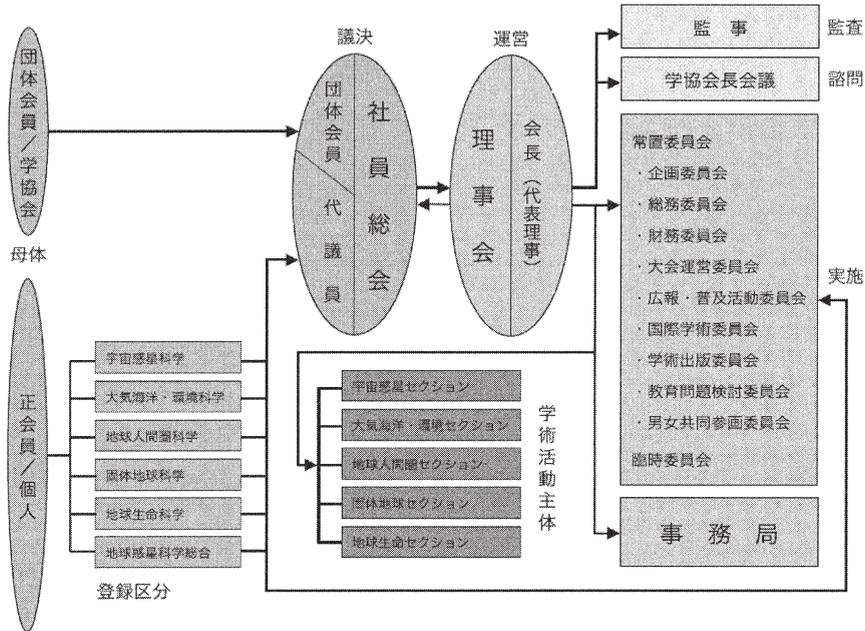
第 4 章 社員総会

(構成)

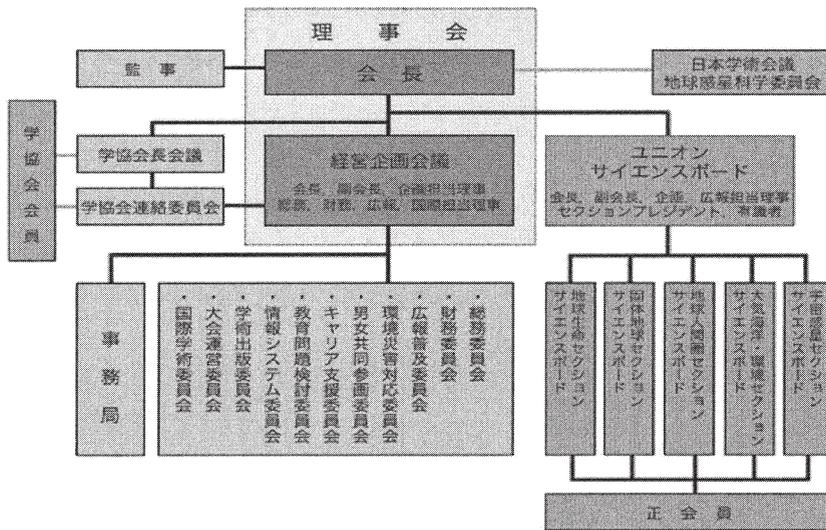
第 27 条 社員総会は、団体会員及び代議員をもって構成する。

2 社員総会における議決権は、団体会員及び代議員いずれも 1 名につき 1 個とする。

法人化後の連合の組織・運営形態



一般社団法人地球惑星科学連合組織概要



議案6 2009年度事業計画(案)

従来 of 事業を継続実施するとともに、第4回日本・中国・韓国気象学会共催国際会議をつくばで開催する。また、新公益法人制度のもとで2010年度に公益社団法人の認定申請を行うことを目標に必要な準備を進める。

1. 機関誌等の刊行

- (1) 天気：第56巻4号～第57巻3号
- (2) 気象集誌：
 - 第87巻2号～第88巻1号及び特別号
- (3) 英文レター誌 SOLA：第5巻～第6巻
- (4) 気象研究ノート：220号～221号
- (5) 大会予稿集
 - 春季大会：95号、 秋季大会 96号
- (6) 電子ジャーナル版による公開：天気、気象集誌

2. 会議等の開催

- (1) 通常総会 2009年度総会(2009年5月29日)
- (2) 理事会
 - 3回(2009年5月、11月、2010年3月)
- (3) 常任理事会 11回
- (4) 評議員会 1回(2010年3月)
- (5) 監事会 1回(2009年4月)

3. 各委員会等の活動

以下の各委員会において、例年と同様に継続的に活動を行う。

- (1) 総合計画委員会
- (2) 学術委員会
- (3) 天気編集委員会
- (4) 気象集誌編集委員会
- (5) 気象研究ノート編集委員会
- (6) SOLA 編集委員会
- (7) 講演企画委員会
- (8) 学会賞候補者推薦委員会
- (9) 藤原賞候補者推薦委員会
- (10) 奨励賞候補者推薦委員会
- (11) 各賞候補者推薦委員会
- (12) 堀内賞候補者推薦委員会
- (13) 山本・正野論文賞推薦委員会
- (14) 国際学術交流委員会
- (15) 教育と普及委員会
- (16) 電子情報委員会

- (17) 名誉会員推薦委員会
- (18) 用語検討委員会
- (19) 地球環境問題委員会
- (20) 気象研究コンソーシアム検討委員会
- (21) 気象災害委員会(仮称)

4. 大会及び研究会等

- (1) 春季大会 2009年5月28日～31日
 - 会場：つくば国際会議場(つくば市)
 - (担当：筑波大学生命環境科学研究科、宇宙航空研究開発機構、国立環境研究所、産業技術総合研究所、農業環境技術研究所、防災科学技術研究所)
 - シンポジウム：2009年5月30日
 - 題名：地球温暖化に関する科学的根拠の解明と脆弱性評価のさらなる連携に向けて
- (2) 秋季大会 2009年11月25日～27日
 - 会場：アクロス福岡(福岡市)
 - (担当：九州支部)
 - シンポジウム：日程および題名未定
- (3) 研究連絡会
 - 以下の研究連絡会において、例年と同様の研究活動を行う。
 - ア メソ気象研究連絡会
 - イ オゾン研究連絡会
 - ウ 大気海洋陸面相互作用研究連絡会
 - エ 極域・寒冷域研究連絡会
 - オ 気象教育研究連絡会
 - カ 非静力学数値モデル研究連絡会
 - キ 地球観測衛星研究連絡会
 - ク 天気予報研究連絡会
 - ケ THORPEX 研究連絡会
 - コ 航空気象研究連絡会
 - サ 統合的陸域圏研究連絡会
 - シ 惑星大気研究連絡会
 - ス 長期予報研究連絡会
- (4) 月例会
 - ア レーダー気象
- (5) 第21回日本気象学会夏期特別セミナー
 - (気象若手会 夏の学校)

5. 研究業績の表彰

- (1) 日本気象学会賞
- (2) 藤原賞
- (3) 山本・正野論文賞
- (4) 堀内賞
- (5) 奨励賞

6. 支部活動

- (1) 北海道支部
 - 研究発表会
 - 1 回目：2009 年 6 月（札幌）
 - 2 回目：2009 年 12 月（札幌）
- (2) 東北支部
 - 支部研究会
 - 期日：2009 年秋
- (3) 中部支部
 - 支部研究会
 - 期日：2009 年秋
- (4) 関西支部
 - ア 総会・年会（大阪）2009 年 6 月
 - イ 例会
 - 中国地区（岡山）2009 年秋
 - 四国地区（未定）2009 年秋
 - 近畿地区（未定）2010 年 2 月頃
 - ウ 支部発行過去文献の電子化
- (5) 九州支部
 - 支部発表会
 - 期日：2010 年 3 月頃
- (6) 沖縄支部
 - 支部研究会
 - 期日：2009 年秋

7. 普及活動

- (1) 公開気象講演会（つくば）2009 年 5 月 31 日
— 数値予報の過去・現在・未来 —
- (2) 第 43 回夏季大学 2009 年 8 月予定
- (3) サイエンスカフェ
第 16 回～第 18 回（東京）
- (4) 北海道支部
 - ア 気象講演会
 - イ 第 27 回気象講座「新しい気象」
 - ウ 特別気象講演会
- (5) 東北支部
 - 気象講演会

- (6) 中部支部
 - 第 15 回公開気象講座
- (7) 関西支部
 - ア 第 31 回夏季大学
 - イ 第 3 回サイエンスカフェ
- (8) 九州支部
 - ア 気象教室
 - イ 気象サイエンスカフェ（福岡市）
- (9) 沖縄支部
 - ア 防災気象講演会
 - イ 親と子のお天気教室
 - ウ 夏季大学

8. 対外活動（他学会との共催等）

- ア 第 58 回理論応用力学講演会
2009 年 6 月 9-11 日
- イ 第 46 回アイソトープ・放射線研究発表会
2009 年 7 月 1-3 日
- ウ 第 26 回エアロゾル科学・技術研究討論会
2009 年 8 月 19-21 日

9. 国際学術交流活動

- (1) 第 4 回日本・中国・韓国気象学会共催国際会議
期 日：2009 年 5 月 26-28 日
場 所：つくば国際会議場（つくば市）

10. 電子情報関連

- (1) 学会ホームページ管理運営
- (2) メーリングリストの管理運
- (3) 日本気象学会刊行物収録 DVD 刊行

11. 気象研究コンソーシアム

共同研究の推進

12. その他

- (1) 日本地球惑星科学連合への団体加盟

13. 事務局の構成

事務局長 鈴木 康夫
事務局員 田沢 秀隆
 棚橋 公子
 萩原 武士

議案 7 2009年度収支予算(案)

2009年度収支予算(案)の特徴は以下のとおりである。

- (1) 2009年度に各支部の会計を本部会計に統合し、各支部の収支を直接本部の収支として扱うこととした。このため、収支科目のうち「支部交付金」を廃止し、新たに「支部事業収入」、「支部事業支出」、「支部管理費支出」を設定した。
- (2) 第4回日中韓気象学会共催国際会議の開催費用として、「国際学術交流」科目に必要額を計上した。

7-1 収支予算(案)総括表

収支予算書総括表

2009年4月1日から2010年3月31日まで

社団法人 日本気象学会

科 目	公益会計	収益会計	合 計
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基 本 財 産 運 用	[562,000]	[0]	[562,000]
会 費 収 入	[34,357,000]	[0]	[34,357,000]
事 業 収 入	[29,670,000]	[15,110,000]	[44,780,000]
補 助 金 収 入	[3,500,000]	[0]	[3,500,000]
雑 入 金 収 入	[135,000]	[0]	[135,000]
繰 入 金 収 入	[4,000,000]	[0]	[4,000,000]
事業活動収入計	72,224,000	15,110,000	87,334,000
2. 事業活動支出			
事 業 費 支 出	[50,870,000]	[6,887,000]	[57,757,000]
管 理 費 支 出	[21,084,000]	[7,701,000]	[28,785,000]
繰 入 金 支 出	[0]	[4,000,000]	[4,000,000]
事業活動支出計	71,954,000	18,588,000	90,542,000
事業活動収支差額	270,000	△ 3,478,000	△ 3,208,000
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	[270,000]	[0]	[270,000]
当期収支差額	0	△ 3,478,000	△ 3,478,000
前期繰越収支差額	6,175,391	10,233,558	16,408,949
次期繰越収支差額	6,175,391	6,755,558	12,930,949

7-2 会計別収支予算(案)

(1) 公益会計

収支予算書

2009年 4月 1日から2010年 3月31日まで

社団法人 日本気象学会
公益会計

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用	[562,000]	[560,000]	[2,000]
基金	144,000	140,000	4,000
藤原賞	20,000	21,000	△ 1,000
山本・正野論文賞	54,000	55,000	△ 1,000
堀内賞	44,000	44,000	0
国際交流基金	300,000	300,000	0
会費収入	[34,357,000]	[35,093,000]	[△ 736,000]
通常会員会費	8,529,000	8,659,000	△ 130,000
特別会員会費	18,592,000	19,328,000	△ 736,000
団体職員会費	4,586,000	4,416,000	170,000
賛助会費	2,650,000	2,690,000	△ 40,000
事業収入	[29,670,000]	[29,835,000]	[△ 165,000]
天気象集誌	1,100,000	1,400,000	△ 300,000
SOLA集誌	9,200,000	8,850,000	350,000
予稿集	2,520,000	2,835,000	△ 315,000
大会開催	7,650,000	7,900,000	△ 250,000
教育と普及	8,900,000	8,450,000	450,000
補助金収入	300,000	400,000	△ 100,000
補助科学研究費	[3,500,000]	[4,000,000]	[△ 500,000]
雑収入	3,500,000	4,000,000	△ 500,000
受取利息	[135,000]	[155,000]	[△ 20,000]
著作権複写許可料	25,000	25,000	0
その他の	110,000	120,000	△ 10,000
繰入金収入	0	10,000	△ 10,000
収益会計より繰入金収入	[4,000,000]	[0]	[4,000,000]
収益会計より繰入金収入	4,000,000	0	4,000,000
事業活動収入計	72,224,000	69,643,000	2,581,000
2. 事業活動支出			
事業費支出	[50,870,000]	[47,366,000]	[3,504,000]
天気象集誌	17,849,000	17,460,000	389,000
SOLA集誌	14,215,000	14,290,000	△ 75,000
予稿集	2,553,000	2,826,000	△ 273,000
大会開催	2,080,000	1,970,000	110,000
教育と普及	7,955,000	7,845,000	110,000
表彰・奨励	820,000	455,000	365,000
国際学術交流会	1,440,000	1,510,000	△ 70,000
その他の学術交流	1,400,000	400,000	1,000,000
研究会連絡会	260,000	480,000	△ 220,000
支部事業費	194,000	100,000	94,000
その他の事業費	2,104,000	0	2,104,000
管理費支出	[21,084,000]	[21,987,000]	[△ 903,000]
人件費支出	11,689,000	12,259,000	△ 570,000
退職金支出	480,000	432,000	48,000
事務局関連経費支出	6,242,000	5,396,000	846,000
電子情報支出	75,000	10,000	65,000
総会・役員会支出	1,201,000	1,209,000	△ 8,000
選挙費用支出	176,000	0	176,000
支部交付金支出	0	2,200,000	△ 2,200,000
支部管理費	901,000	0	901,000

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
租 税 公 課 支 出	320,000	481,000	△ 161,000
事業活動支出計	71,954,000	69,353,000	2,601,000
事業活動収支差額	270,000	290,000	△ 20,000
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	[270,000]	[290,000]	[△ 20,000]
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	6,175,391	3,843,610	2,331,781
次期繰越収支差額	6,175,391	3,843,610	2,331,781

(2) 収益会計

収支予算書

2009年 4月 1日から2010年 3月31日まで

社団法人 日本気象学会
収益会計

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
事業収入	[15,110,000]	[15,230,000]	[△ 120,000]
天気集誌	2,850,000	3,160,000	△ 310,000
気象研究所ノット	950,000	1,300,000	△ 350,000
予稿集	8,350,000	7,690,000	△ 660,000
書店扱い	280,000	400,000	△ 120,000
書籍	2,680,000	2,680,000	0
著作権複写許可料	[0]	[20,000]	[△ 20,000]
事業活動収入計	15,110,000	15,250,000	△ 140,000
2. 事業活動支出			
事業費支出	[6,887,000]	[6,726,000]	[161,000]
天気集誌	1,206,000	1,280,000	△ 74,000
気象研究所ノット	700,000	920,000	△ 220,000
予稿集	4,260,000	4,506,000	△ 246,000
支部事業費	20,000	20,000	0
管理部費支出	701,000	0	701,000
人件費支出	[7,701,000]	[8,147,000]	[△ 446,000]
退職金支出	3,896,000	4,090,000	△ 194,000
事務局関連経費支出	160,000	144,000	16,000
電子情報支出	2,085,000	1,779,000	306,000
総会・役員会支出	25,000	0	25,000
選挙費用支出	396,000	404,000	△ 8,000
支部交付金支出	58,000	0	58,000
支部管理費	0	1,100,000	△ 1,100,000
租税公課支出	301,000	0	301,000
法人税等支出	270,000	80,000	190,000
繰入金支出	510,000	550,000	△ 40,000
公益会計へ繰入金支出	[4,000,000]	[0]	[4,000,000]
事業活動支出計	4,000,000	0	4,000,000
事業活動収支差額	△ 3,478,000	377,000	△ 3,855,000
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	[0]	[180,000]	[△ 180,000]
当期収支差額	△ 3,478,000	197,000	△ 3,675,000
前期繰越収支差額	10,233,558	9,088,241	1,145,317
次期繰越収支差額	6,755,558	9,285,241	△ 2,529,683